



ほけんだより 2月号

令和7年1月31日

椋山女学園大学附属椋山こども園

気温が低く乾燥した日が続いています。2月3日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなるといわれています。感染症も流行する季節なので、寒くてもこまめに換気を行い、空気の入替えを心がけましょう。

冬のあせも・とびひ

あせもやとびひと言えは、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子どもが多いようです。子どもは代謝がよく、たくさん汗をかくので、服装は大人より一枚少なめが基本です。

乳児は特におむつの中がむれやすくなるので、時々背中に触れて、汗をかいていないかどうか確認をしましょう。



白っぽい下痢に **注意**

白っぽい下痢便を特徴とするのが、ロタウイルスによる胃腸炎。おう吐と下痢によって体の水分と電解質が失われ、脱水症状を引き起こしやすくなります。

症状

- 突然のおう吐や白っぽい下痢便
- 37～38℃の発熱がある場合も（おう吐はない場合もある）

ケア

- こまめな水分補給
- 消化のよい食事
- 乳児は下痢便の付いたおむつを持って病院を受診

おう吐と下痢が治まり、いつもどおり食事ができたら、登園できます

